



さつまいもの病害対策のポイント④

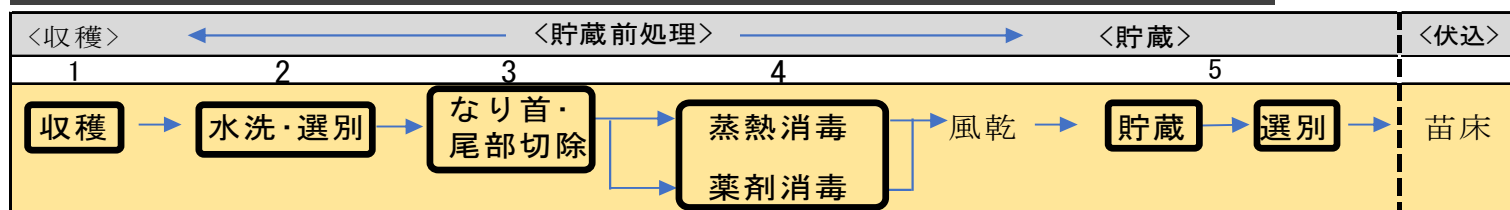
【持ち込まない対策：健全な種いもの確保】

県農政部農産園芸課



令和8年産の被害軽減に向けて、健全な種いものを確保しましょう！

基腐病等による種いもの腐敗を防ぐための作業工程図



1 収穫

種いものは、茎葉、株元に病気の発生が無い場合「**種いも専用ほ場**」から、健全なものを採取しましょう（図1）。

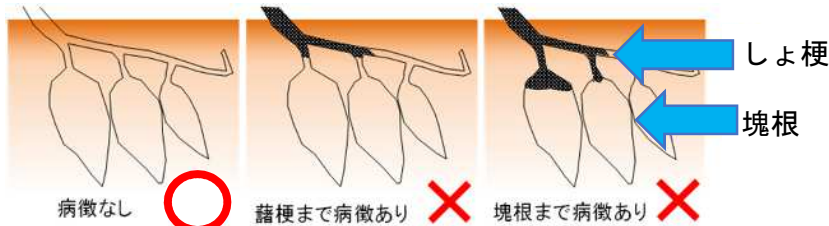


図1 基腐病の病徴が無い株から種いものを採取する

2 水洗・選別

種いもの表皮を傷つけないよう丁寧に水洗いし、表皮の変色や異常が見られる種いもがあれば、除去しましょう（図2）。

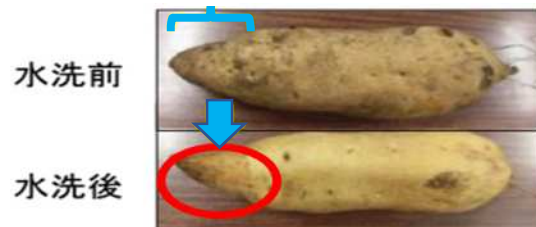


図2 水洗による病徴の見え方の違い

3 なり首・尾部の切除

- なり首は基腐病、尾部は乾腐病等の貯蔵病害が出やすいため、切除しましょう（図3）。
 - 使用したハサミ等はこまめに消毒しましょう。
- ※ 消毒は火炎滅菌又は丁寧な洗浄と拭き取りを行う。

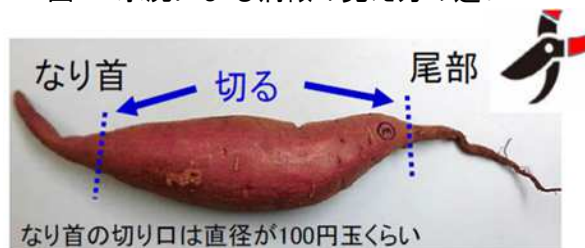


図3 なり首・尾部の切除方法

4 種いも消毒（貯蔵前に行う）

- (1) 蒸熱消毒（原則、**9～11月の暖かい時期に行う**）

蒸熱消毒直後は、表皮が柔らかく傷つきやすいので注意しましょう。

- ① 種いもの表皮を傷つけないよう、丁寧に取り扱い扱う。
- ② 低温（10℃以下）にさらさず、風通しの良い場所で風乾する。
- ③ 蒸熱消毒をしてすぐに伏せ込まない。



蒸熱処理装置

- (2) 薬剤消毒

トップジンM水和剤200倍液に30分間浸漬しましょう。黒斑病の防除にもなります。

※10℃以下の低温にさらさず風乾させ、表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵（下記参照）しましょう。

5 貯蔵・選別

- 温度（13±1℃）と湿度（90～95%）を確保できる定温貯蔵庫で保管しましょう。
- 貯蔵中に腐敗した種いもはこまめに除去し、周囲の種いもへの伝染を防ぎましょう。

御不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム（事務局：地域振興局・支庁農政普及課）に御連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業（01020C）」「戦略的スマート農業技術等の開発・改良（SA2-102N）」の成果を活用しました。